

## 第2学年国語科学習指導案

児童 1組 男子11名 女子14名計 25名  
指導者 早坂 由紀子

- 1 単元名 友だちに分かるように話そう (光村図書 2年上 たんぼぼ)  
教材名 あったらしいな、こんなもの

### 2 単元について

#### (1) 児童について

1年生の「みんなに知らせたいこと」や「わたしはなんでしょう」の学習で、伝えたいことを話の順序を考え分かるように話すこと、聞く際には大事なことを落とさないようにすること、分からないことや詳しく聞きたいことについては尋ねたり答えたりすることを学習した。

2年生になってからは、「ふきのとう」で、身の回りから見つけた春について友達に分かるように話すことを、「ともこさんはどこかな」では、大事なことを落とさずに話したり聞いたりすることを学習した。国語の学習以外にも、輪番制でスピーチを行い、テーマに沿って話題を選んで話したり、話し手に対して質問したり感想を伝えたりしながら聞く活動を行っている。

この単元の目標に関わる「順序を考えながら聞き手に分かるように話すこと・友達と話し合っ  
て考えを深めること」の経験や意識について事前調査したところ、結果は次の通りであった。

質問項目	はい	どちらかと いえばはい	どちらかと いえばいいえ	いいえ
① 伝えたいことを落とさず、詳しく話していますか？	36%	48%	12%	4%
② 聞く人にわかるように、順番を考えて話していますか？	64%	24%	16%	20%
③ 聞く人にわかるように、聞こえる声の大きさをゆっくり、はっきり、話していますか？	48%	44%	4%	4%
④ よくわかったり、なるほどと思うところではうなずきながら聞いていますか？	44%	36%	12%	8%
⑤ 相手の話の内容に質問や感想を言おうと考えながら聞いていますか？	56%	24%	8%	12%
⑥ 友だちと、いろいろな話題で会話のやり取りができますか？	60%	36%	0%	4%

調査の結果から、「伝えたいことを落とさず、順番を考えて話すこと」「うなずきながら、質問や感想を考えながら聞くこと」とともに、8割以上の児童が、意識していると答えた。意欲的で積極的に挙手発言しようとする児童が多いクラスである。しかし、実際に話し手となった場合には、意欲はあっても、断片的で分かりづらかったり、緊張から声が小さく早口になって聞き取りにくかったりと、内容的にも技能的にも上手に話せる子はまだ少ない。聞き手の場合も、黙って静かに聞いていても、内容に興味を持ち集中して聞く段階には至らず、後で何の話だったか首をかしげてしまう子も多い。調査では殆どの子が「いろいろな話題で会話のやり取りができる」と答えた。よい会話を取り上げ紹介しながら尋ね方・答え方を意識させ、子どもの興味や意欲をさらに引き出していきたい。

これらのことから、「順序を考えながら聞き手に分かるように話すこと」「友達と話し合っ  
て考えを深めること」の力をつけ、学習や日常活動を円滑に行えるようにすることが大切であると考える。

- (2) 教材について～5 学習計画 (P9～11 参照)

6 本時の指導 (12/15)

(1) ねらい

- ・聞き手に分かるように、順序よくはっきりと話している。
- ・うなずいたり質問や感想を考えたりしながら聞いている。

(2) 本時の展開

□ は、かかわり合いの場

過程	学習活動	教師の働きかけ
つかむ 7分	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの準備を生かして楽しい発表会になるように意欲をもたせる</li> <li>・発表方法・役割分担・感想カードの書き方を確認する</li> </ul>
かかわり合う 33分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         順序よくはっきり話したり、発表のよいところを考えながら聞いたりして、楽しい発明コンクールにしよう。                     </div> 3 発表会をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                         学習形態は学級全体とする                          話し手は分かりやすくするため順序に気をつけて、はっきり話すことを意識する。                          聞き手は発表者のよいところを考えながら集中して聞く。                     </div> 練習してきた3人グループで 発表・司会・感想の役割を決め、発表を進める。 (1) はじめの言葉 (2) 発表者の話 (3) 聞き手の質問・感想 (4) 先生の話 (5) 感想カードのメモ 以下8グループ (2) ~ (5) 繰り返す (6) 終わりの言葉 ※発表の初めに自分が今回の学習で特に頑張ったことを話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに学習した話し方・聞き方をとりいれて分かりやすい発表を意識させる。</li> <li>・発表の仕方・聞き方・メモの注意点を掲示し、意識して発表会に参加できるようにする。</li> <li>・時間配分や進め方など司会者への必要な言葉がけをする。</li> <li>・聞き手の質問・感想はできるだけまだ発言していない人を優先させる。(ハンドサインによる発言の有無の表示)</li> <li>・発表が終わったら、その都度簡単に感想カードにメモをとらせる。</li> <li>・教師はグループごとに分かりやすい話し方や話す順序など、よい所を取り上げてほめる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p>A：聞き手を意識して順序よく大きな声ではっきりと話することができる。また、うなずいたり進んで感想を伝えたりしながら聞くことができる。</p> <p>B：聞き手に分かるように順序よくはっきりと発表したり、感想を考えながら聞いたりできる。</p> <p>(C児への手立て)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表に不安がある児童には、事前に用意した発表原稿を使わせる。</li> <li>・感想を持ってない児童には友達感想を参考に促す。</li> </ul> </div>
みとめ合う 5分	4 本時の学習をまとめる。 (1) 振り返りシートに記入し、学習を振り返ったり、感想をまとめたりする。 (2) 感想を発表する。 5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに記入させる。</li> <li>・発表や聞き方のよかったこと、次時に生かしたい要点をまとめる。</li> <li>・次時は発表会の続きをすることを話す。</li> </ul>